

女子学生の食品嗜好に影響を与える環境的要因について(第2報)

篠 田 陽 子・重 田 公 子

| 目的

生活環境の違いが食生活に及ぼす影響を探る目的で女子短大生を対象に本調査を実施し継続してきた。今回は前報で報告した際、有意差の見られた食品と料理 27 品の料理 18 品においてはイメージを、9 食品においては好きな料理、よく食べる料理、よく作る料理について調査を行い、大都市、地方都市の違いを探った。

II 調査方法

1) 対象 T女子短大生(都市型) 122名中 115

名，回收率 94.3%，M 女子大生（地方型）107 名中 104 名，回收率 97.2%。

2) 實施時期 平成元年11月実施

3)方法 調査した料理18品は、a赤飯，b親子丢，c雑煮，d雑炊，eカレーライス，fオムライス，gスパゲティナポリタン，hカップヌードル，iトースト，jみだくさんスープ，kビーフステーキ，m鶏のから揚げ，nコロッケ，pフライドポテト，q酢豚，r半熟卵，s卵豆腐，t奴豆腐である。イメージ測定は、相対刺激語8組、測定尺度1～7の7段階法によるSD法を用い、評定値をもとに、平均値と標準偏差を算出した。

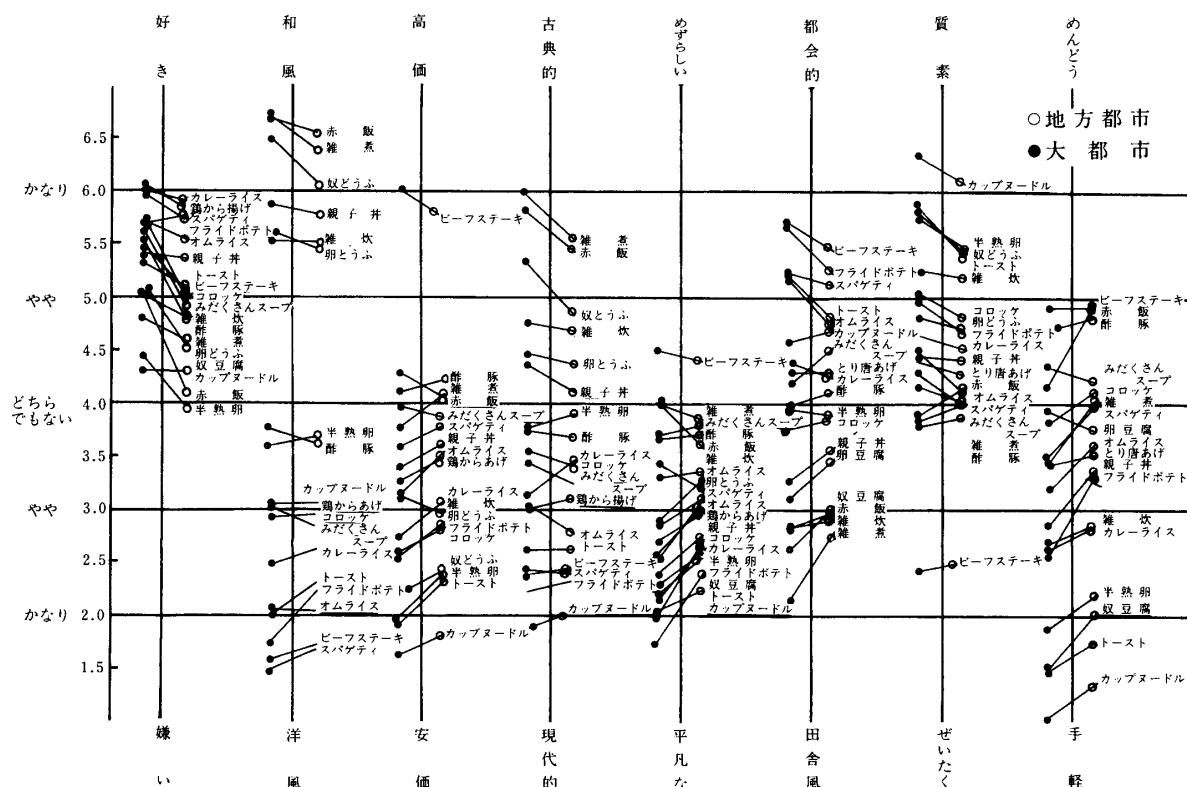


図1. 料理のイメージ分布

注) 太線は有意差あり

表1 料理のイメージ評定値の有意差検定

	嫌好 ～ いき	洋和 ～ 風風	安高 ～ 価価	現古 代～典 的的	平め ～らし 凡い	田都 舎～会 風的	ぜ質 い～ たく素	手め ～ど う
赤 親 子	飯 丼	**		*	**	**		**
雜 雜	煮 炊	**	**	*	**	**	**	**
カレーライス				**	**			
オムライス				**	**		**	**
スパゲティナポリタン					**			**
カップヌードル						**	*	*
トースト		*	**	*	**	**	**	*
みだくさんのスープ		**				**		
ビーフステーキ		**		*		*		**
鶏のから揚げ				*	**			
コロッケ	**			*	**		*	
フライドポテト		**		*	**		*	**
酢豚								
半熟卵	豆腐	*	**	**	**	**	**	
卵奴	豆腐	*	**	**	**	**	**	**

** p < 0.01

* p < 0.05

表2 料理に対するイメージ相関

料 理	r
赤 親 子	飯 丼 0.810 *
雜 雜	煮 炊 0.786 *
オムライス	0.929 **
カレーライス	0.976 **
カップヌードル	1.000 **
スパゲティナポリタン	0.929 **
トースト	0.905 **
みだくさんのスープ	0.952 **
酢豚	0.810 *
コロッケ	1.000 **
ステーキ	0.976 **
鶏から揚げ	0.960 **
半熟卵	0.976 **
卵豆腐	0.869 **
フライドポテト	0.976 **
奴豆腐	0.976 **

** p < 0.01

* p < 0.05

準偏差、イメージ相関係数について比較検討を行なった。また食品9品は、じゃが芋、さつまいも、さといも、かぼちゃ、きのこ、ほうれん草、いちご、なし、ももである。これらの食品について好きな料理、よく食べる料理、よく作る料理の名をあげ記入を求め、第1位にあげられた料理の集計を行なった。

III結果

料理のイメージ分布（図1）をみると、1. 18料理は、好き、質素、平凡、安価に片寄り、和洋は明確に分かれ、“現代的一古典的”、“都会的一田舎的”的イメージははっきりせず、“めんどう一手軽”は料理により分散していることがわかった。2. 料理を“和風一洋風”的イメージ分布によって分けると、和風料理（a, b, c, d, s, t）6品、外来料理（q, r）2品、洋風料理（e, f, g, h, i, j, k, m, n, p）10品に分類される。3. 地方型はイメージ評定値の分散の幅が全体に狭く、中央

表3 ジャガイモ料理

出現順位		好きな料理		よく食べる料理		よく作る料理	
		大都市	地方都市	大都市	地方都市	大都市	地方都市
1位	料理名	フライドポテト	フライドポテト	フライドポテト	ポテトサラダ	肉じゃが	ポテトサラダ
	人 数	29	33	27	19	30	28
	割 合 %	24.4	31.7	22.7	18.3	25.3	26.9
2位	料理名	肉じゃが	肉じゃが	肉じゃが	フライドポテト	ポテトサラダ	肉じゃが
	人 数	20	25	24	17	25	18
	割 合 %	16.8	24.0	20.2	16.3	21.0	17.3
3位	料理名	粉ふき芋	ポテトサラダ	ポテトサラダ	肉じゃが	粉ふき芋	その他・カレー
	人 数	12	10	23	15	11	13
	割 合 %	10.1	9.5	19.3	14.4	9.3	12.5

表4 さつま芋料理

出現順位		**好きな料理		よく食べる料理		**よく作る料理	
		大都市	地方都市	大都市	地方都市	大都市	地方都市
1位	料理名	焼き芋	大学芋	天ぷら	天ぷら	ふかし芋	天ぷら
	人 数	39	34	38	46	32	54
	割 合 %	32.8	32.7	32.0	44.2	26.9	51.9
2位	料理名	大学芋	天ぷら	ふかし芋	ふかし芋	天ぷら	ふかし芋
	人 数	22	27	28	17	30	15
	割 合 %	18.5	26.0	23.5	16.3	25.2	14.5
3位	料理名	ふかし芋	焼き芋	焼き芋	大学芋	焼き芋	大学芋
	人 数	16	19	16	16	12	12
	割 合 %	13.4	18.3	13.5	15.4	15.1	11.5

の“どちらでもない”に集まる傾向を示し、都市型はこれとは対称的に分散する傾向を示している。4. 和風料理は、“古典的で田舎風”的なイメージに対し、洋風料理は、“現代的で都会的”なイメージを持っている。また、外来料理に対するイメージは“どちらでもない”である。5. “好き”イメージの高い料理ベスト3は、都市型「鶏のから揚げ、カレーライス、フライドポテト」、地方型「カレーライス、鶏のから揚げ、スペゲティナポリタン」である。6. カレーライスは、都市型、地方型ともに“安価で平凡”なイメージを持っているが、両者のイメージ評定値には差 ($p < 0.01$) が認められた（表1）。7. “好き”イメージの高いフライドポテトは、

両者共“都会的で現代的”な料理のイメージを持っているが、“洋風—和風”“安価—高価”“平凡—めずらしい”“ぜいたく—質素”“手軽—めんどう”の各イメージ評定値には有意差が認められた。8. ビーフステーキは、“都会的で高価” ($p < 0.05$)、“ぜいたくでめずらしい”料理として、両者共第1位にあげている。しかし、“手軽—めんどう”イメージでは、地方型が最も“めんどうな料理”としてイメージしているのに対し、都市型は4番目である。9. “好き—嫌い”イメージで両者に差のないカップヌードルは、“安価で現代的、平凡で質素、手軽”イメージが最も強い料理である。10. 都市型と地方型の料理に対するイメージ測定値の順位相関係数(表

——好き-----食べる---作る

図2-1 ジャガイモ料理(大都市)

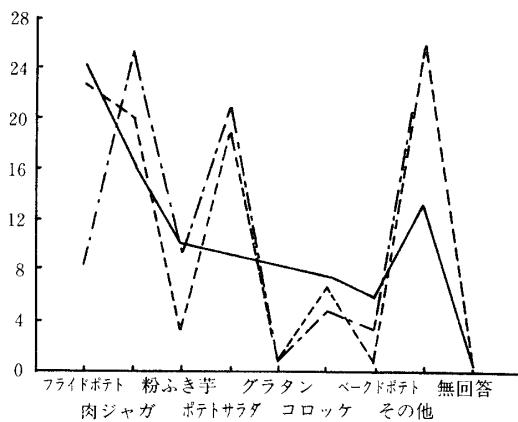


図2-2 ジャガイモ料理(地方都市)

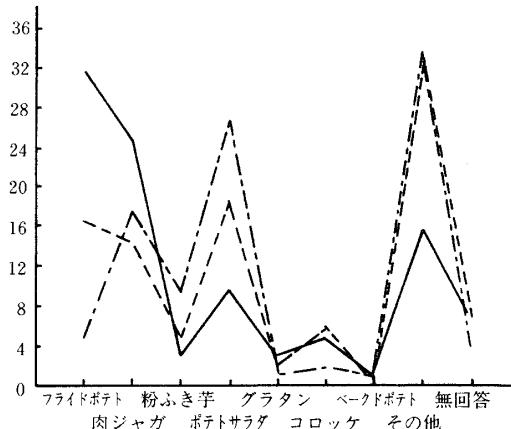


図3-1 さつまいも料理(大都市)

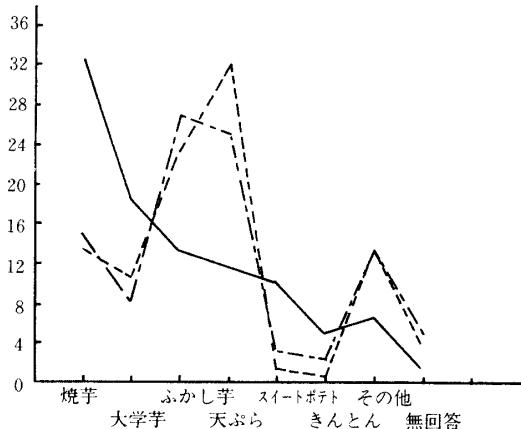
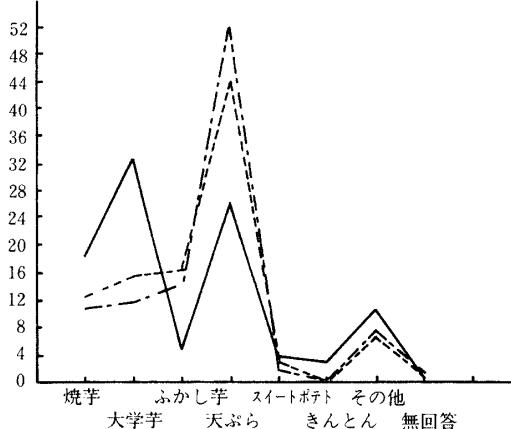


図3-2 さつまいも料理(地方都市)



2)は、0.786~1.000で、都市型と地方型のイメージパターンはよく類似しているが、両者のイメージ測定値間には、5%ないし1%の水準で有意差が認められた。

次に、9食品について見ると(表3~9、図2-1~図8-2), 1. ジャガイモ料理(17種)の出現順(表3、図2)は“好きな料理”が両者共フライドポテト、肉じゃがの順となり、次いで都市型は粉ふき芋、地方型はポテトサラダとなった。フライドポテトの都市型は“好き”“食べる”と比較し、“作る”が低く、地方型は“好き”と比較し、“食べる”“作る”的低いこと、都市型で“好き”な粉ふき芋は、両者共“食べる”“作る”的低いこと、ポテトサラダは両者共“好き”と比較し、“食べる”“作る”的高いことが判った。また、地方型のその他はカレー

であり、前報、前々報調査結果と同じ傾向を示した。さらに料理全般を見ると、①都市型は嗜好が分散していること。②両者共に“好き一作る”に関連(表10)がないこと。③3項目共に両者間に差のないこと。が判った。2. さつまいも料理(12種)の出現順(表4、図3)は、“好き”が都市型で焼き芋、大学芋、ふかし芋、地方型で大学芋、天ぷら、焼き芋の順となった。

“食べる”“作る”は両者共天ぷら、ふかし芋が高い頻度で出現した。都市型の焼き芋は、“好き”と比較し、“食べる”“作る”が低く、天ぷらは“食べる”“作る”と比較し、“好き”的低いこと。地方型の焼き芋は“好き”と比較し、“食べる”“作る”が低く、天ぷらは“食べる”“作る”と比較し、“好き”的低いことが判った。地方型の焼き芋は3項目に差は少なく、天ぷらは都市

表5 さといも料理

出現順位		**好きな料理		**よく食べる料理		**よく作る料理	
		大都市	地方都市	大都市	地方都市	大都市	地方都市
1位	料理名	煮ころがし	芋の子汁	煮物	芋の子汁	煮物	芋の子汁
	人 数	43	34	39	38	40	40
	割 合 %	36.1	32.7	32.8	36.5	33.6	38.5
2位	料理名	煮物	煮物	煮ころがし	煮物	煮ころがし	煮物
	人 数	38	22	37	20	37	16
	割 合 %	31.9	21.2	31.1	19.2	31.1	15.4
3位	料理名	けんちん汁	煮ころがし	けんちん汁	みそ汁の実	けんちん汁	みそ汁の実
	人 数	12	16	15	11	15	11
	割 合 %	10.1	15.4	12.6	10.6	12.6	10.6

——好き-----食べる---作る

図4-1 さといも料理（大都市）

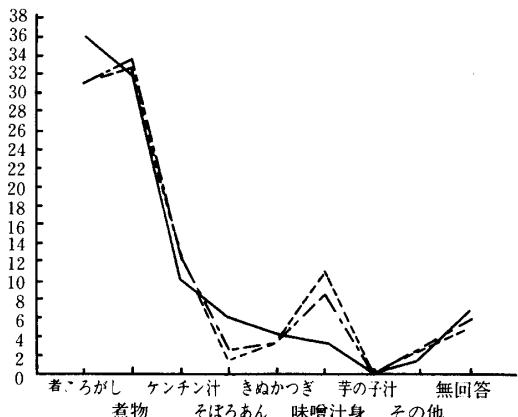
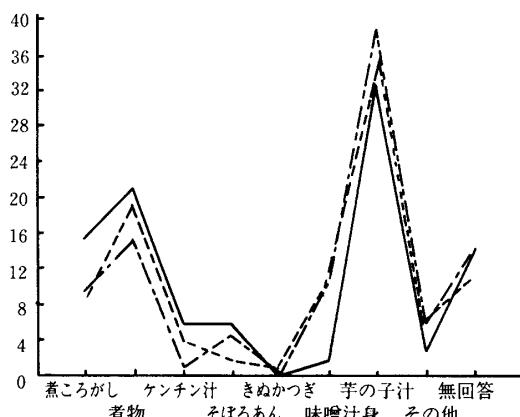


図4-2 さといも料理（地方都市）



型同様となったが出現率は高かった。料理全般を見ると、①じゃが芋料理同様都市型は嗜好が分散していること、②都市型の“好き一作る”に関連がなく、両者に違いのあること。が判った。3. さといも料理(8種)の出現順は表5、図4のとおりである。都市型は3項目共に煮ころがし、煮物、けんちん汁が出現した。地方型は郷土料理の芋の子汁が3項目共に高い頻度で出現した。また、みそ汁の身が両者共に“好き”と比較し“食べる”“作る”的高いこと、きぬかつぎ、けんちん汁が地方型に低いことも判った。4. かぼちゃ料理(8種)の出現順は表6、図5のとおりである。都市型は3項目共に、甘煮、甘辛煮が多く、地方型は甘煮に片寄っているこ

とが判った。5. きのこ料理(8種)の出現順は表7、図6のとおりである。両者共好きな料理の第1位はきのこ御飯となり、30%を越す出現となった。次いで都市型はソティ、地方型は汁の身となった。また都市型のソティ、地方型の汁の身は“作る”“食べる”的1位となった。6. ほうれん草料理(6種)の出現順は表8、図7のとおりである。両者共お浸し、ごま和え、ソティであった。また、お浸しは、“好き”と比較し、“食べる”“作る”的高い食品であることが判った。7. いちご料理(6種)の出現順は表9、図8のとおりである。両者共に3項目“そのまま食べる”であった。しかし出現率に違いが現れ、都市型に出現率が高いことが判った。

——好き-----食べる---作る

図5-1 かぼちゃ料理(大都市)

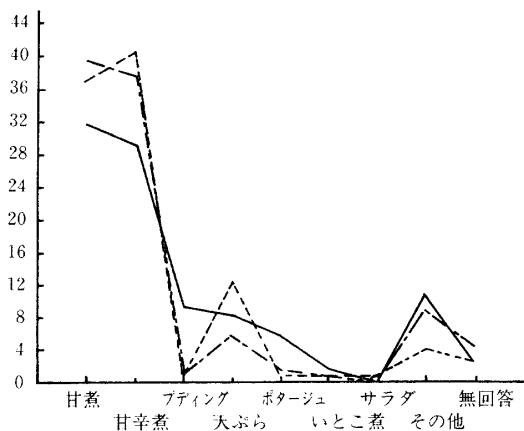


図5-2 かぼちゃ料理(地方都市)

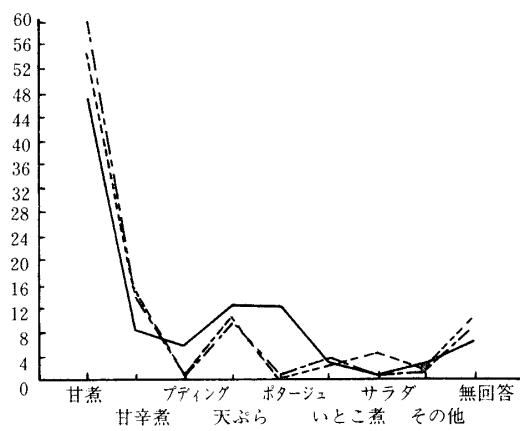


表6 かぼちゃ料理

出現順位		**好きな料理		**よく食べる料理		**よく作る料理	
		大都市	地方都市	大都市	地方都市	大都市	地方都市
1位	料理名	甘煮	甘煮	甘辛煮	甘煮	甘煮	甘煮
	人 数	38	49	48	56	47	61
	割合 %	31.9	47.1	40.4	53.8	39.5	58.7
2位	料理名	甘辛煮	天ぷら	甘煮	甘辛煮	甘辛煮	甘辛煮
	人 数	35	13	44	15	45	15
	割合 %	29.4	12.5	37.0	14.4	37.8	14.4
3位	料理名	プディング	ポタージュ	天ぷら	天ぷら	天ぷら	天ぷら
	人 数	11	13	15	11	7	10
	割合 %	9.3	12.5	12.6	10.6	5.9	9.6

表7 きのこ料理

出現順位		**好きな料理		**よく食べる料理		**よく作る料理	
		大都市	地方都市	大都市	地方都市	大都市	地方都市
1位	料理名	きのこ御飯	きのこ御飯	ソティ	汁物の実	ソティ	汁物の実
	人 数	38	38	25	35	28	29
	割合 %	31.9	36.5	21.0	33.6	23.5	27.9
2位	料理名	ソティ	汁物の実	きのこ御飯	きのこ御飯	汁物の実	ソティ
	人 数	28	18	24	22	25	13
	割合 %	23.5	17.3	20.2	21.2	21.0	12.5
3位	料理名	煮物	中華料理	汁物の実	ソティ	きのこ御飯	おろし和え
	人 数	13	13	21	11	23	13
	割合 %	10.9	12.5	17.7	10.6	19.3	12.5

——好き-----食べる——作る

図6-1 きのこ料理（大都市）

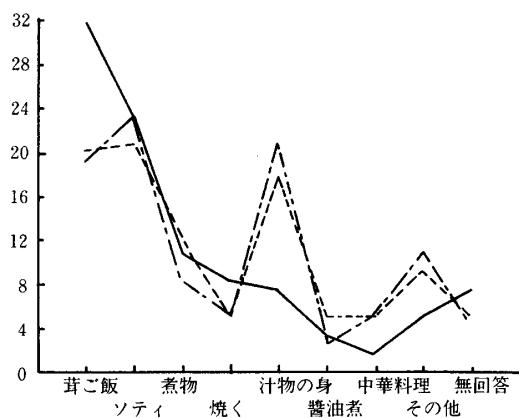


図6-2 きのこ料理（地方都市）

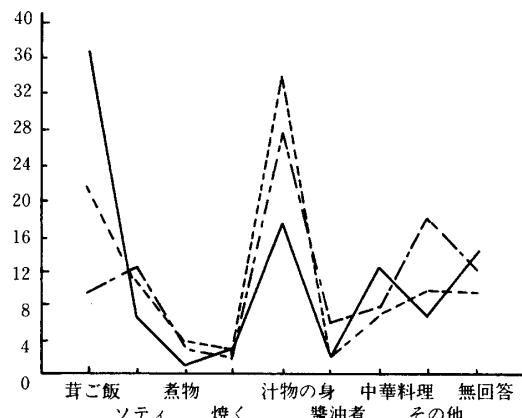


図7-1 ほうれん草（大都市）

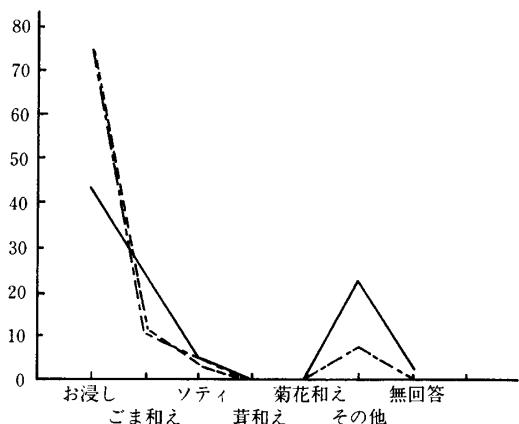


図7-2 ほうれん草（地方都市）

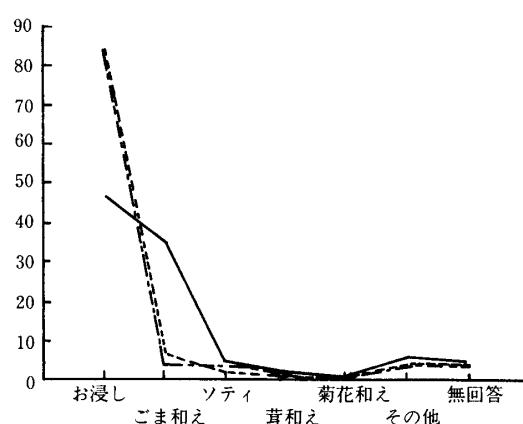


図8-1 いちご料理（大都市）

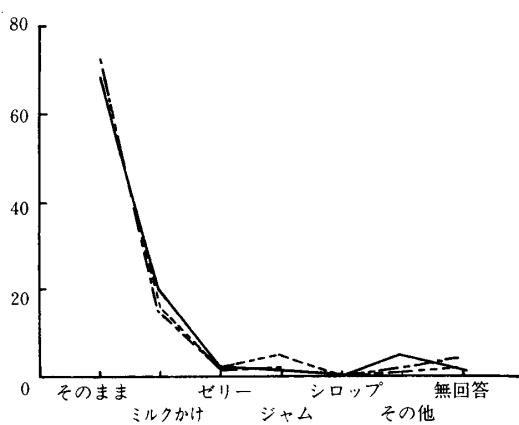
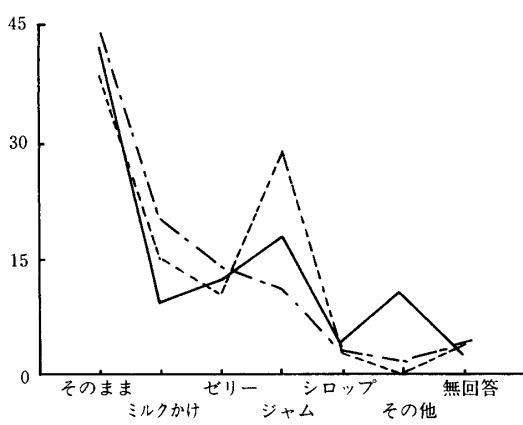


図8-2 いちご料理（地方都市）



また、地方型は、ジャム、ゼリーも高い頻度を示した。8. もも、なしについては3項目共に“そのまま食べる”が90%前後となり両者の違いは現れなかった。

IVまとめ

- 調理担当者の9.4%は祖母（前報）の地方都市と、核家族化が進み、嗜好が分散している大都市では、料理に対するイメージは類似していても両者の評定値には有意な差が認められた。
- 食品の“好き一食べる一作る”的出現は

じゃが芋、ほうれん草を除く7食品に違いが認められた。

- 家庭で食べる料理に違いが少ないことが判った。
- 料理種類の多い芋料理に大都市において嗜好の分散が認められた。

以上、食品や料理に対するイメージは、日常の食生活によって形成され、経験や情報などを基に変容をくり返す。日常生活が複雑、多様化する中で“好き一食べる一作る”が分化してきたことも推察され、“好き”イコール“作る”ではなく、他の要素、すなわち手軽さ等も大きく

表8 ほうれん草料理

出現順位		好きな料理		よく食べる料理		よく作る料理	
		大都市	地方都市	大都市	地方都市	大都市	地方都市
1位	料理名	お浸し	お浸し	お浸し	お浸し	お浸し	お浸し
	人 数	52	49	90	87	92	86
	割合 %	43.7	47.1	75.6	83.7	77.3	82.7
2位	料理名	ごま和え	ごま和え	ごま和え	ごま和え	ごま和え	ごま和え
	人 数	30	37	15	7	13	4
	割合 %	25.2	35.5	12.6	6.7	10.9	3.8
3位	料理名	ソティ	ソティ	ソティ	ソティ	ソティ	ソティ
	人 数	6	5	4	2	5	4
	割合 %	5.0	4.8	3.4	1.9	4.2	3.8

表9 いちご料理

出現順位		** 好きな料理		**よく食べる料理		**よく作る料理	
		大都市	地方都市	大都市	地方都市	大都市	地方都市
1位	料理名	そのまま	そのまま	そのまま	そのまま	そのまま	そのまま
	人 数	82	44	87	40	87	46
	割合 %	68.9	42.3	73.1	38.5	73.1	44.2
2位	料理名	ミルクかけ	ジャム	ミルクかけ	ジャム	ミルクかけ	ミルクかけ
	人 数	24	19	20	30	18	21
	割合 %	20.2	18.3	16.8	28.8	15.1	20.2
3位	料理名	ゼリー	ゼリー	ジャム	ミルクかけ	ジャム	ゼリー
	人 数	3	13	6	16	3	15
	割合 %	2.5	12.5	5.0	15.4	2.5	14.4

* 5%水準で有意差あり
** 1%水準で有意差あり

表10 好き・食べる・作る相関関係数の検定

		好き 食べる	好き 作る	食べる 作る
じゃが芋料理	大	**		**
	地	**		**
さつま芋料理	大	**		**
	地	**	**	**
さといも料理	大	**	**	**
	地	**	**	**
かぼちゃ料理	大	**	**	**
	地	**	**	**
きのこ料理	大	**	**	**
	地	**	**	**
ほうれん草料理	大	**	**	**
	地	**	**	**
いちご料理	大	**	**	**
	地	**	**	**
もも料理	大	**	**	**
	地	**	**	**
なし料理	大	**	**	**
	地	**	**	**

** 1%水準で相関あり

作用する様に思われる。今後、食習慣を形成する環境的要因を探るには、日常の家庭食だけではなく、晴食及び外食の状況を知る必要を痛感した。

V 参考文献

- 1) 山口和子他：栄養学雑誌, vol. 45, No. 3 117～132
- 2) 厚生省公衆衛生局栄養課編：『国民栄養の現状』昭和 56 年国民栄養調査成績 (1983) 第一出版
- 3) 厚生省保健医療局健康増進栄養課編：平成 2 年版『国民栄養の現状』(1990) 第一出版
- 4) 大里進子他：『演習栄養指導』医歯薬出版, 1990
- 5) 笹田陽子, 重田公子：「女子学生の食行動に影響を与える環境的要因について(第1報)」『生活学園短期大学紀要』第 12 号, 63～73, 1989
- 6) 笹田陽子, 重田公子：「女子学生食品嗜好に影響を与える環境的要因について」『生活学園短期大学紀要』第 13 号, 1～14, 1990
- 7) 辻新六, 有馬昌宏：アンケート調査の方法, 朝倉書店, 1988